

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 瀬戸内共同火力株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 721-0931 広島県福山市鋼管町 1 番地	
本票作成	部署名：技術部技術担当倉敷技術グループ				
主たる業種	分類コード	33	業種名：電気業		
事業の概要	事業内容：製鉄所で発生する副生ガスを有効利用し低廉な電力を発電。 認可出力：613MW、（倉敷共同発電所）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉敷共同発電所		倉敷市水島川崎通 1 丁目 1 2 番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6 )年度排出量		目標年度 (令和 6 年度)	
	180,718 t CO <sub>2</sub>	170,780 t CO <sub>2</sub>		163,166 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 6 )年度排出量	
	①	倉敷共同発電所		170,780 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 ( 1 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 6 ) 年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.3 %		5.2 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> ) 原単位指標 (所内電力量) (MWh) 基準年度 180,718 237,042 令和6年度 170,780 211,582 目標年度 163,166 227,703		原単位当たり排出量		
			基準年度	( 6 ) 年度	目標年度
			0.756	0.804	0.717
			t CO <sub>2</sub> /( MWh )	t CO <sub>2</sub> /( MWh )	t CO <sub>2</sub> /( MWh )
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値(令和 6 年度)	達成率等
	電力供給業	A:1.00かつB:44.3% 以上		A:1.19 B:47.0%	A:119% B:106.1%
	石炭火力供給業	43.000 % 以上		43.6 %	101.0%
【削減状況の自己評価】 基準年度(令和5年度)に比べ、製鉄所から供給される副生ガス量が減少した事によりCO <sub>2</sub> 排出量は減少したが、高効率複合発電設備（ガス専焼ユニット）の利用率の低下等にもなう発電効率低下の影響により、発電所全体の原単位当たりの排出量が基準年度に比べて増加した。					

【推進体制】

- ・社長を環境管理の最高責任者として全社の環境管理を統括管理し、技術部を担当する役員をエネルギー管理統括者、技術部長を環境管理責任者として環境管理体制を構築しています。
- ・環境・エネルギー管理委員会を開催し、環境問題への取組に関する重要事項を審議しています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷共同発電所	<p>(令和6年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発電設備の効率運用推進 各ユニットの総合的経済運用による効率の維持向上</li> <li>2. 補機の適切な運用台数による動力削減</li> <li>3. 夏季、冬季省エネルギーの実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 冷暖房の温度管理による電力削減</li> <li>(2) 昼休み等の不要時消灯の励行</li> <li>(3) 省エネパトロールの実施</li> </ol> </li> <li>4. 全社員対象の省エネ教育の実施（1回/年）</li> <li>5. エネルギー使用合理化に関する工事实績 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1中央制御室空調装置更新【削減効果:原油換算5.29k1/年】</li> <li>(2) 第1中央制御室控室空調装置更新【削減効果:原油換算0.66k1/年】</li> <li>(3) 第5号機2階電気室空調装置更新【削減効果:原油換算6.90k1/年】</li> <li>(4) ミーティングルーム空調装置更新【削減効果:原油換算4.72k1/年】</li> </ol> </li> <li>6. 「令和4年度先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金（B）オーダーメイド型事業」共同申請 [2022年8月31日 補助金交付決定通知書受領] 【事業の名称】「J F E スチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区) 高炉送風機の電気駆動化に伴う連携省エネルギー事業」 【事業者名】 J F E スチール株式会社／瀬戸内共同火力株式会社</li> </ol> <p>(今後実施予定分) 令和6年度実施した措置について、継続して今後も取り組みを実施する。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】